

2022年度 日本ロールシャッハ学会研究助成のお知らせ

この度、ロールシャッハ法および投映法の発展と研究の活性化、および今後を担う人材の育成目的で若手（40歳未満）の会員を対象に研究助成を行うことになりました。

2022年度の研究助成内容は、「投映法に関する、あるいは投映法を用いた研究で、2023年度に、国際学会及び国内学会で発表予定のもの」とします。

応募要項は以下の通りです。多くの皆様の応募をお待ちしています。

1) 助成対象

①正会員および学生会員（申請時40歳未満）の個人研究、②正会員および学生会員（申請時40歳未満）を筆頭研究者（研究責任者）とするグループ研究。

2) 助成内容

投映法に関する、あるいは投映法を用いた研究。2023年度に、国際学会及び国内学会で発表予定のもの。なお、助成金の使途は研究実施にかかる費用（実施経費、謝金など）、英文校閲費、学会発表にかかる費用（交通費、大会参加費等）、発表後の投稿にかかる費用など研究に関わるもの全般とする。研究助成金額は、国際学会での発表は1件につき最大10万円。国内学会での発表は1件につき最大5万円とする。

3) 申請期間

2022年7月25日～2023年1月31日（17時厳守）

4) 申請方法

- ・申請書は別紙【2022年度日本ロールシャッハ学会研究助成申請書 書式】を使用すること。学会ホームページからもダウンロード可能。
- ・日本ロールシャッハ学会事務局<jimukyoku@jsrpm.jp>宛てに申請書をメールで提出
- ・なお、表題に必ず【2022年度研究助成申請・（筆頭研究者氏名）】を記載すること。
（例）【2022年度研究助成申請・山田花子】

5) 今後のスケジュール

- ・ 公募締切 : 2023 年 1 月 31 日 (17 時厳守)
- ・ 審査期間 : 2023 年 2 月～2023 年 3 月
審査委員会から理事会に助成対象候補者を推薦
- ・ 研究助成者決定 : 2023 年 3 月 (予定)
決定後、直ちに研究助成対象者に決定内容を通知。
決定内容は、学会 HP に掲載
- ・ 報告書提出 : 研究助成を受けた者は発表後 1 か月以内に学会事務局あてに報告書をメールで提出。報告書は学会 HP に掲載

6) 注意事項

- ・ 研究助成を受けた者は研究成果を発表する際に、本助成を受けた研究であることを明記すること。
- ・ 研究者は少なくとも助成を受けた後 3 年間は本会会員でなければならない。
- ・ 研究助成事業の対象となった研究が、何らかの事情で遂行が困難になった場合は、研究者は、速やかにその旨を研究助成委員会に届け出なければならない。この場合、本会は研究助成金の返還請求を行うなどの措置をとることがある。

日本ロールシャッハ学会
会 長 高橋 靖恵
担当理事 青木佐奈枝

2022 年度日本ロールシャッハ学会助成申請書

No. _____

年 月 日

日本ロールシャッハ学会会長 殿

ふりがな 氏 名		会員番号	
生年月日(西暦)	年 月 日生	申請時年齢	歳
所属先			
連絡先 (E-mail)			
発表学会			
大会名	学会第 回大会 (年)		
開催地	開催国 :	都市名 :	
共同研究者 (連名発表者)	氏 名	所 属	
発表題目			
倫理面への配慮 (承認機関)	倫理委員会承認番号 _____ 号 ・ 無 ()		
助成金の用途 (右記に費目と金額、合計金額を具体的に記載して下さい。)			
他の助成の有無	有 (助成団体名 _____) ・ 無		

No. _____

「研究題目」 英文・和文の両方で記入して下さい

英文：

和文：

「研究内容」 目的，方法，結果，考察の形式（1,200字以内・和文）で，記入して下さい